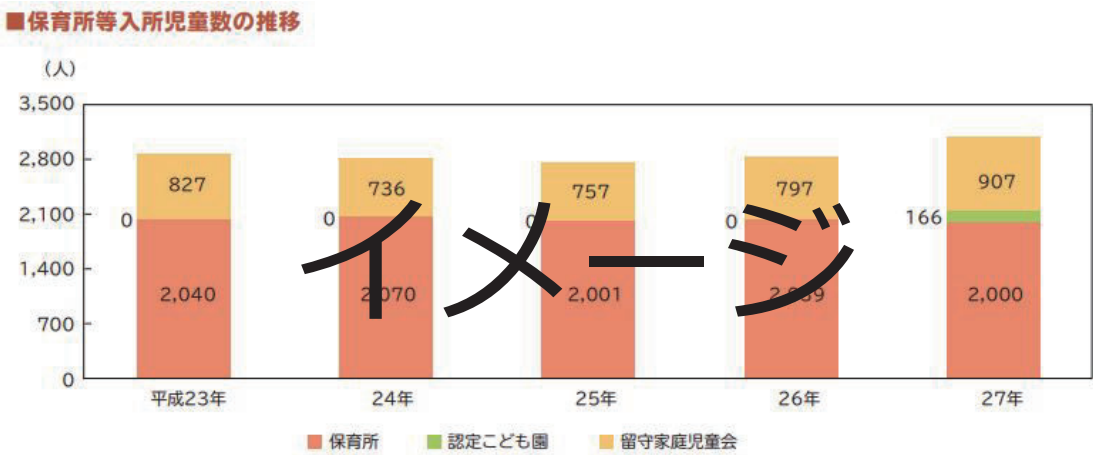


施策 1 保育・幼児教育の充実

現状・課題

女性の就業率が増加傾向にあり、それに関連して保育所保育の重要性が高まってきています。また、年々保育所に求められるニーズが高まり、ますます保育の専門性が問われるようになってきています。近年の少子化に関わらず保育所への入所希望者は増加しているのが現状です。

核家族が増加している中で、親だけに子育ての負担と責任がかかる現代社会では、孤独感や不安感を抱える保護者が増加しています。また、保育への入所希望者の増加に応えるため、こども園5園を開設するなどしていますが、待機児童もいる中で多様化する市民ニーズにどのように対応していくかが求められています。



目指す姿

こどもが夢と希望を描き、可能性を広げ、健やかに成長することができる、質の高い保育・教育の環境が確保されています。

市民の声

- 子どもがみんなから大切にされ教育が充実したまち
- 子どもと子育てが守られるまち
- 子育てに悩む人がいないまち
- お母さんが生き生きするまち

SDGs



施策方針

① ニーズに応じた受け入れ体制を整備し、地域に根ざした教育・保育施設づくりを行います。

【主な取り組み】

- 園での生活が安心して送ることができるために、保育士の資質向上を図るとともに、保育環境の充実を図ります。
- 保育施設の保育の質を維持向上させるために研修の実施等、事業者の運営支援の充実に取り組みます。
- 保育士の不足に対応するため、関係機関と連携を図り、保育士の定着や出産・育児等により離職した保育士の復職の支援などに努めます。

② 子どもたちが健やかに成長できるよう教育環境の充実を図ります。

【主な取り組み】

- 施設の老朽化による事故を防止するため、きめ細やかな点検・修繕を行います。また、安全性・快適性の向上に向けて、施設の改修を計画的に行います。
- 幼稚園の教育活動や運営・維持管理に必要な予算を配当します。



成果を測る主な指標

指標	説明	現状	方向性
待機児童数	保育所への入所にあたり、待機を余議なくされている児童の数	〇人 (令和元年〇月現在)	

主な関連施策

施策 2 学校教育の充実

施策 3 健やかな成長への支援

施策 4 妊娠期から子育て期までの支援の充実

分野別計画

子ども子育て支援事業計画、橿原市就学前保育・教育指針